

<白金標準、景気後退リスクを急速に織り込み過ぎた反動待ち・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は相互関税の発表で一律 10%を課すと発表し、ただ中国やベトナム、EU に日本、韓国など 60 ヶ国には 20%を超える関税を課すと発表している。そのため市場の思惑から外れて高い関税を課す事から、米国の景気後退リスクが高まり、インフレは高止まりするなどスタグフレーション懸念が強まっている。週末にはパウエル FRB 議長は講演で、「不確実性は依然として高い状態だが、関税引き上げは想定よりもかなり大幅になることが明らかになりつつある」と発言し「同じことが経済への影響についても言えるだろう。それにはインフレ率上昇や成長減速が含まれる」と述べるなど、米国経済に対する懸念を指摘している。特に株価は連日大きく下落しており、ナスダックは弱気相場入りを示している。また相互関税から貴金属が適用除外され、関税の恩恵が消えた事も悪影響となり、NY 白金は 1031.6 ドルから週末には 910.7 ドルまで下落している。特に白金標準先物は、4716 円から 4207 円まで反落し、昨年 8 月 6 日に付けた安値 4129 円に迫る値動きを見せており、目先は売られ過ぎの反動から 4360 円へ向けて戻りを見せて来ると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** も下げている。また RCI では**短期**が下げながら、**長期**も下げている。ただ日足が **10 日移動平均線**から乖離しており、売られ過ぎの自律反発が起こる可能性は高いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,115,000 円(2025 年 4 月 7 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2025 年 4 月 7 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>